

# 図書館だより 第29号

H.14. 11. 5 神戸大学附属図書館医学部分館

>>> も く じ <<< ページ

利用者から ( 1 ) .....	1
利用者から ( 2 ) .....	2
2003年新規中止外国雑誌のお知らせ .....	2
学生用資料購入費がありません! .....	3
ビデオ機器が利用し易くなりました .....	3
「特別利用」講習会のご案内 .....	4
研究室貸出図書の点検について .....	4



## 利用者から

### <知的欲求に対する予算>

杉 浦 麗 子

私は子供の頃から非常に本が好きであった。私が小学校に入る少し前に講談社の <少女少女世界文学全集> が発売され、両親は私にこれを買って与えてくれた。この全集は毎月一冊が配本されるものであり、配本日には貪るように本を読んだことを覚えている。本を読むのをやめたくなくて、ピアノの練習をするときにも楽譜立ての上に本を置き、指は鍵盤を叩きながら目は字を追いかけていた。食事の最中にも本を読もうとして父親にこっぴどく怒られ、これはさすがにあきらめた。

現在も私の本好きは続いており、必然的に私の周りには(仕事場も家も)本や文献であふれている。個人的見解として本はその与えてくれる情報量と知的快楽を考えると極めて安い。高級車(たとえばベンツ)やフランス料理のフルコースに払う金額でどれだけの本を買うことができるであろうか。

先日図書運営委員会で神戸大学医学部図書館の雑誌購入を検討する機会があった。図書購入に要する費用が大学の予算を圧迫しているので購入雑誌を減らすという方向で議論が行われたがどうも納得がいかなかった。雑誌購入以外に削減できる無駄な出費が大学に一切ないといえるのだろうか。また購入すべき雑誌、廃止すべき雑誌を検討する方法にも不満が残る。Nature や Cell といった leading journal を購入廃止すべきかどうかという対象にしている大学があるだろうか。確かに昨今は何事も<評価される>時代であり、雑誌もその例外ではないであろう。従って切り捨てられる雑誌があってもよい。その一方で Cell, Science, Molecular Cell, Nature Reviews, JBC 等の全面的な online journal 利用を可能にすることが、もしも神戸大学が研究大学を自認・標榜するのならば必要ではないのだろうか。

アリストテレスの<形而上学>の始めに<人間は生まれながらにして知ることを欲している>とある。<知的欲求>という人間の根源的な本能を満たす場である図書館の蔵書の質と量を見なおす時かもしれない。

(すぎうら れいこ 分子薬理・薬理ゲノム学)



## 利用者から

### 「今や勉強は図書館派（以前までは自宅派）！」

小川 禎 治

それは今年の冬のある日曜日のことです。図書館で国試を控えた6回生に混じって勉強していたとき、何人かの6回生が弁当箱や空き缶で一杯になった図書館のゴミ箱のゴミをとて寒い外のゴミ置き場に捨ててに行くのを見ました。誰から強制されたわけでもなく自主的に、しかも、ゴミ袋を振り振りしつつにぎやかにわいわい談笑しながら。感動しました。「この人たちはきっと将来立派なドクターになるんだろうなあ」と思いました。それから数か月後、研修医となった彼らと病院内で再会しました。とても熱心に働いていました。そして忙しい中僕たちポリクリ学生にとて丁寧にたくさんの事を教えてくれたのです。こういう経験をすると、「僕（たち）も頑張らなければ」と、決意で体にちからがみなぎります。図書館にまつわる、僕の大切なエピソードです。

あのう、もうどう御礼を言っているのかわからないくらい図書館やそのスタッフの方々にはお世話になっています。ここでどれだけ勉強したことか！ 勉強がとってもはかどるんです、ここだと！ 感謝してます。これは学生みんなの素直な気持ちです。そして僕には、この図書館で勉強した人達が何だか一緒に苦楽を共にした戦友のような感じがして、「みんなの努力が報われますように」と思うのです。

（おがわ よしはる 医学科自治会教務委員長・5回生）

## 2003年新規中止外国雑誌のお知らせ

まことに残念なことです。外国雑誌の価格高沸のため、来年は29タイトル中止せざるを得なくなりました。しかし、中止するだけではなく新しいタイトルも必要との声があり、7タイトルを新規に購入することとしました。加えて、Nature 関連誌で電子ジャーナルが利用できないものがありましたが、要望が強いので、Nature 関連誌で購入するもの全タイトルが電子ジャーナル利用可能となるよう計画しています。

### 中止タイトル

- Analytical Biochemistry
- Anatomical Record
- Angiology
- APMIS
- Archives of Biochemistry and Biophysics
- Archives of Biochemistry and Biophysics Pt. B
- Archives of Pediatrics and Adolescent Medicine
- Canadian Journal of Anaesthesia
- Cancer Epidemiology, Biomarkers & Prevention
- Cardiology
- Cardiovascular and Interventional Radiology
- Cell Growth & Differentiation
- Cytogenetic and Genome Research
- Epilepsia
- European Journal of Clinical Investigation
- Experimental Biology and Medicine
- Eye
- Heart
- Hormone and Metabolic Research
- International Journal of Radiation Biology

- Journal of Chromatographic Science
  - Journal of Molecular Medicine
  - Journal of Sports Medicine and Physical Fitness
  - Journal of the American Dental Association
  - Molecular Cancer Therapeutics
  - Naunyn-Schmiedeberg's Archives of Pharmacology
  - Nucleic Acids Research
  - Proceedings. Biological Sciences
  - Thoracic and Cardiovascular Surgeon
- 印は冊子体は中止しますが、電子ジャーナル契約により電子ジャーナルの利用は可能となる見込みです。

### 新規タイトル

- Annual Review of Neuroscience
- Bone Marrow Transplantation
- Cancer Cell
- Developmental Cell
- EMBO Reports
- Nature Neuroscience
- Nature Reviews Cancer



## 学生用資料(図書・和雑誌・ビデオなど)購入費 がありません!



学生さんからは「図書が少ない!古い!」「図書館の充実を!」という不満・要望が常にあがっています。医学部分館の資料費は外国雑誌(5000万円以上です。)が主で、学生用図書は申し訳程度にしか購入できていないのが実状です。学生さんからの不満ももっとも、と医学部分館としては常に心を痛めています。

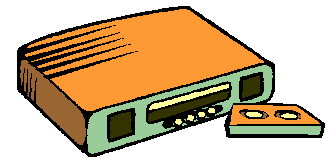
現在、自然科学系(医学を含む)の研究では電子ジャーナルが主流になり、研究室にいながらにしてジャーナルを読むことができます。「図書館は不要になるのでは?」という議論もされているようです。しかし、学生さんにとっては外国雑誌より和雑誌・教科書、また現在ではビデオ教材が頼りです。六甲台から離れた場所にある医学部では心を育てる一般教養書もたくさん揃える必要があると思われます。教育の場に図書館はなくてはならないものだと思います。

平成14年度の文部科学省から医学部分館(名谷分室を含む)への学生用図書費の配分額は約80万円です。これで高額な医学書が何冊購入できるでしょうか?文部科学省は平成14年度から電子ジャーナルの導入補助予算を新設しましたが、ほとんど同額の学生用図書費を減額しました。今後限りなくゼロに近づける方針だそうです。学生用図書費を削り教育の手抜きをして、果たしてノーベル賞を獲得できる人材が育つでしょうか?

これまで医学部分館として何とか学生用図書費を増やしたいと努力してきました。昨年度は校費及び学部長裁量経費の補助をいただいて、学生の希望図書、教官推薦の学生用図書、ビデオソフトを購入しました。また、神緑会(医学部同窓会)と学生後援会からもそれぞれ学生用図書費として寄付をいただいています。

今年、平成14年度は医科学専攻科も運営費が少なく、(これまで購入した一部を除き)学生用図書は買える見込みがありません。それどころか、和雑誌や継続購入図書を大幅に中止しなければならないような状況です。

大学の第1の目的は教育のはずです。良い社会人、良い研究者、良い医師を育てるために、学生・大学院生の勉強の場にふさわしい図書館になるよう、皆様方のご支援をお願いいたします。



### ビデオ機器が利用し易くなりました

このたび、AV(視聴覚)資料を利用する環境を整備しましたので、ご活用ください。利用時間帯はこれまで同様、月曜日~金曜日(土曜日はできません)の9:00~17:00、お一人2時間以内です。

新しくビデオ機器3台を1階フロア西側奥に設置しました。ビデオソフトも機器のそばの保管庫に移動しました。保管庫に収納リストを添付していますので、視聴を希望されるソフト名をカウンターに申し出て、ソフトとヘッドフォンを借り出してください。また、所蔵リストをご覧になりたい方は、附属図書館ホームページの「AV資料等案内」をクリックしていただくと、一覧できます。

閲覧室2階にあるグループ学習室No.2にもビデオ機器1台を設置しましたので利用できます。

3階のAV室も従来どおり利用できます。ただし、ソフト類は1階にあります。予約は前日からできます。

### 雑誌製本の終了

長らくご不便をおかけしていましたが、2001年分の雑誌製本が終わり、地下の書架に配架しました。しかし、今年は図書館の運営費が逼迫しており、例年の6割程度の冊数しか製本できませんでした。従って、タイトルによって、2001年分が2階の新着雑誌書架に残っているものもあれば、地下の書架に移っているものもあります。

製本されているかどうかはOPACで調べていただければ分かります。配架場所が分からない場合には、お手数ですが、検索をお願いします。

## 医学部分館特別利用講習会のご案内 …11月

\*\*\* 医学科3年次学生にも利用していただけます(今年度中・試行) \*\*\*

通常開館以外の時間帯に図書館を利用することができます。利用できる方は医学系研究科・医学部の教職員の方、大学院生、研究生、医学科4 - 6年次学生、その他の方です。(くわしくは図書館カウンターでお尋ねください。)

安全に利用していただくために「特別利用」講習会を受けていただく必要があります。講習会の前日までに『医学部分館特別利用申請書』の提出をお願いします。

**新しいお知らせ** : 9月より、医学科3年次学生の方にも試験的に利用していただくことになりました。今年度中に限り、あくまでも「試行」です。不正使用や他の利用者へ迷惑を及ぼす行動などがありましたら、来年度・または年度途中でも打ち切りということがあり得ます。

### 【講習会】

日時: 11月 19日(火) 15:00 ~ (30分程度)  
場所: 共同会議室(図書館の3階です。)  
定員: 30名(申込者多数の場合は別日時で臨時講習会を開きます。)  
申請用紙はカウンターにあります。  
講習会当日は開始5分前に入室をお願いします。

### 【カードの発行】

講習会翌日から1週間の間(11月20日~26日。9時-12時、13時-17時土・日曜日を除く。)に「図書館利用者カード」または学生証と、印鑑を持ち図書館カウンターへおいでください。

次の講習会は12月半ばに開催予定です。

## 研究室貸出図書の点検について

大学法人化に向けて、資産評価のための蔵書点検にご協力いただきましてありがとうございました。まだ、全研究室からの回答は揃っていませんが、よろしく願いいたします。

## Current Contents Search データベースのサービスが終了します

購入中止に伴い、WinSPIRS や WebSPIRS で利用されていた Current Contents が2003年から利用できなくなります。

### 【図書館業務案内】

カウンターサービス 医学系情報サービス掛(内線 5310 E-mail: mlibs@lib.kobe-u.ac.jp)  
文献複写問合せ " (内線 5315 E-mail: igaku@lib.kobe-u.ac.jp)  
資料購入関係 医学系情報管理掛(内線 5306 E-mail: mlibk@lib.kobe-u.ac.jp)  
「特別利用」関係 " (内線 5305 E-mail: mlibk@lib.kobe-u.ac.jp)

\* 「図書館だより」は医学部分館のホームページでもご覧になることができます。

URL: <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/igaku/>

発行: 神戸大学附属図書館医学部分館 平成14年11月 5日付 第29号  
神戸市中央区楠町7-5-1 TEL: 078(382)5305  
FAX: 078(382)5319